

泉斜江 いづみ 小説家、俳人。明治十二年一月二十一日石川縣生れ、
昭和八年二月二十日没（二八〇—九三）。本名豊春。泉鏡花の弟。兄の
影響下、尾崎紅葉の門に入る。また星野麥人主宰俳誌「俳藪」、札幌
の北星吟社機關誌「北星」の據り句作。

著書「深川染・前篇」（鏡花補、明治四十年四月十八日春陽堂）、口帝

大教授 大教授「生氣質」（本名、明治四十三年十一月二十一日又成社）、口新書

「翰又作法」（源徳村共著、明治四十四年二月五日國文館）、口現代

八一景口（同共編、大正二年四月八日應來社）、口名家「口紀行日本より海

外へ（一人一景）」（本名、編、大正八年二月二十日應來社書房）、

「亂刀一彌大吉翁實話」（大正七年十月七日白水社「近代世界佚書叢

書」）、口現代名家紀行文集」（源徳村共編、大正十四年六月二十五

日文陽堂書店）等。